



学校だより 10月号

令和5年9月29日

かさま

No.508

横浜市立笠間小学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kasama/>

【学校教育目標】かまがやくひとみ さわやかえがお まごころいっぱい かさまの子

思い出に残る最高の日光修学旅行

～最高学年としての子どもたちの姿～

校長 中里 純子

ポジティブな心

「思い出に残る最高の日光修学旅行～メリハリつけて Possible～」のスローガンを掲げ、9月22日～23日に6年生は、日光修学旅行に行ってきました。予報では、2日間ともあいにくのお天気、前日の学年集会に集まった子どもたちには「メリハリをつけて思い切り楽しみましょう」そして「雨の日だからこそ見えるものや味わえるものがある、それを見つけてきましょう」と私から話をしました。当日の朝も予報通りの雨でした。しかし、出発式での子どもたちの表情からは、ワクワクした気持ちが伝わってきました。こうした子どもたちのポジティブな気持ちが功を奏したのか、1日目の日光に向かうバスの中からは青空も見え始め、中禅寺湖畔でのお弁当、華厳の滝の見学、戦場ヶ原のハイキングと全て予定通りに行うことが出来ました。2日目は、夜半からの雨が降りやまず、朝の散歩が中止となりました。中庭に面した宿のロビーに大勢の子どもたちが集まる中、「鹿だ！」誰かが鹿の親子を見つけました。そば降る雨の中、鹿の親子が中庭の草を食べに来ていたのです。「雨で散歩が出来なかったからこそ、鹿の親子を見る事が出来たんだね。」「ほんとだね！！」子どもたちが見せてくれたポジティブな心持ちは、これからの自らの成長を大きく助けていくものの様に思われました。



集団行動 ～他者を思いやる心～

修学旅行中は、担当児童や先生が前に立つと一斉に視線がそこに集中します。集団行動において、人の話を聴く、時間を守る、といったメリハリのある行動が、最高の思い出創りのための基盤にありました。戦場ヶ原のハイキングでは、細い木道を対面から来る人とすれ違いながら歩きます。先頭の方で気づいた児童が、「右側によって！」と一声かけます。すると、列は自然と右側に。他者への心配りが自然と出来る子どもたち、そして、互いに声を掛け合い高めあえる子どもたちの姿がありました。

この後、5年生三浦体験学習や4年生上郷体験学習、個別支援学級宿泊体験学習、1～3年生遠足等が続きます。最高学年である6年生が見せてくれた姿を全校児童にも伝えるとともに、全職員でも共有し、笠間小としてのぶれない指導を目指してまいります。そして、子どもたちには、雨でも晴れでもポジティブな気持ちで、大切な行事を思い切り楽しんでほしいと願っています。